

自己評価結果票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1 ○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	会社の基本理念、基本方針を元に毎年事業計画を立案し、施設テーマを掲げている。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及び職員は法人理念に基づいて、それぞれ個人目標をマイチャレンジにて設定している。また、事業計画を基にし、理念の実践に取り組んでいる。		
3 ○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関・事務所・会議室に掲示し、運営推進会議でも常に伝達している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4 ○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	神社等施設周辺の散歩を積極的に行い、挨拶、会話をするようにしている。 夏祭り・バザー等自治会の行事へは、案内も有り常に参画して頂いている。	○	ふれあい喫茶の実施。
5 ○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元出身の方には引き続き、ミニデイ等老人会の参加をしている。 夏祭り、秋祭りといった地域主催の行事へ積極的に参加している。 自治会主催の掃除へ参加している。 地域の理髪店を利用している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の介護に対するご相談があればいつでも対応している。地域の方の突然の訪問において相談等あれば、助言させていただいている。	○	自治会と、提案等話し合いを持ちたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	定例会議で結果を報告し、参考にし業務改善につなげている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、事業報告を行い、協力いただきたいところは呼びかけたり、意見を頂くようにしている。	○	地域住民の方やご家族様にも行事の企画、準備段階から入って頂けるよう働きかけていきたい。
9	○市町との連携  事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に町の健康福祉課等に訪問し情報交換を行なっている。町主催の研修に積極的に参加している。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	学ぶ機会はないが、新聞記事を通して、職員間が話し合うように努めている。相談があれば紹介している。		
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	法人として、新卒及び新入社員へは入社時又は入社時期に応じて、理解を深めるための研修の機会を設けている。また新聞記事を通じて、職員間が話し合うように努めている。	○	施設内勉強会のテーマに取り上げていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得	入居時に十分な説明を行い、同意を得ている。		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映	利用者様との日常会話を通して聞くようにしている。また、利用者様のご家族様に話され、ご家族様から聞くこともある。それらについては、随時話し合いを行なっている。カンファレンスに参加していただける方にはその際に聞くようにしている。		
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
14	○家族等への報告	月1回の広報、近況報告の中で報告している。面会時やケアプラン説明の際には近況も報告している。		
	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
15	○運営に関する家族等意見の反映	意見箱を設置している。年1回の懇親会の際に伺っている。	○	ケアカンファレンスに参加して頂き意見等を反映していきたい。
	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
16	○運営に関する職員意見の反映	月1回のフロアー会議、定例会議を行なっている。司会を担当制にし議題も考えるようにしている。		
	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者様のレベル・状況に応じた勤務体制を組んでいる。		
	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている			

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>フロア(1F・2F)間の異動は極力避け年1回に留めている。やむを得ず行なった場合は、慣れるまでは勤務の調整を図ったり、他職員がカバーしている。</p>		
<p><b>5. 人材の育成と支援</b></p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・施設内の研修、勉強会を行っている。 ・個別で施設外への研修に参加し、資格取得を行っている。 ・マイチャレンジに職員個々の職務能力アップの目標を掲げ、上司との面接を通じ指導している。</p>		
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>キャラバンメイトの勉強会に参加している。地域の研修に参加している。社内(法人内)の他事業所で定期的に研修している。</p>		
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>マイチャレンジを通しての面会にて、職員の思いや悩みを聞くようにしている。 職員間の親睦会を定期的実施している。</p>	○	<p>有給休暇を活用し順番にリフレッシュの為長期休暇取らずようにしていきたい。</p>
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>マイチャレンジを通して個人面談を3ヶ月に1回実施して話し合い自己評価を行う機会にしている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23 ○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用されるまでご自宅に訪問させていただき、本人様及びご家族(身元引受人等)のご意向を伺うようにしている。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用されるまでご自宅に訪問させていただき、家族様の困っている事や、入居に至るまでの思い等を伺うようにしている。またご意向も伺っている。		
25 ○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いのなかで、意向に沿えるケアが可能か確認している。万が一添えない場合は、他のサービスの情報を提供したり、紹介している。		
26 ○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学して頂き生活の様子等を見ていただいている。入所初期は職員から積極的にコミュニケーションを図り、他の利用者様との橋渡しを行い、馴染みやすいようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27 ○利用者と共に過ごし支えあう関係  職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	出来ないことを支援し、得意とされていることは、職員が教えていただいたり協働して日常生活を送っていただけるようにしている。行事の準備も一緒に行なっている。	○	行事等利用者様に企画していただけるように工夫していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	近況報告、広報の発送。 大きな行事へ参加していただいている。行事のお手伝いもしていただいている。	○	日常的な行事(喫茶外出等)に参加して頂けるように工夫したい。
29	○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	自由に電話手紙等連絡をしていただいている。近況報告に本人様にも可能な方には手紙を書いていただいている。定期的に面会の依頼をしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのある場所へ個別的に外出の機会を提供している。入居前に参加されていたミニデイ等老人会の行事に参加していただいている。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	同一の趣味、特技を利用者様同士が共に出来るよ機会を提供している。食事席も気の合う利用者様同士が座れるよう配慮している。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も記録、資料を保管している。自宅へ帰られた方についてはデイサービスを利用して頂き、交流を持つようしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時に可能な限り、利用者様にもカンファレンスに参加して頂き意向を伺っている。	
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し利用者様の生活歴や馴染みのものを把握するようにしている。	
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	サービス経過記録、ケース記録等を記入し把握するようにしている。	
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当職員サービス計画作成担当者等が月1回カンファレンスを行なっている。可能な方には本人様ご家族様にも参加していただいている。	○  ケアプラン更新の際はできるだけ本人様もしくはご家族様に参加いただけるよう工夫していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的カンファレンスを行なっている。変化が生じた場合にもカンファレンスを行ない新たにプラン更新している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	サービス経過記録に記入している。申し送り簿に記入し情報の共有を行なっている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービス利用者様と将棋の機会を提供したり、合同の行事を多くしている。余暇時にカラオケを利用している。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域住民のボランティアの受け入れを行なっている。定期的に消防署立会いのもと避難訓練を実施している。	○	文化、教育機関との関係を形成していく。
41 ○他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者様・家族様が必要とされた場合地域のケアマネジャーや他サービス利用者様に連絡したり、紹介している。		
42 ○地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加いただいた際に、情報提供・意見交換を行なっている。		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>43</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携医を主治医とし月2回往診に来ていただいている。家族様希望される主治医については、家族様対応で受診していただいている</p>	<p>○</p>	
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>提携医に相談し状況に応じて専門医を紹介していただいている。</p>		
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>提携医の看護師に必要時連絡し指示を仰いでいる。</p>		
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院中は医療機関に面会し、情報収集に努め情報交換に努めている。また状況に応じて早期退院するケースもある。</p>		
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期については、提携に相談しながら、ご家族様の意向を聞きカンファレンスを行なっている。</p>		
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>チームを組んでいないが、終末期を施設でと希望される方については提携医、ご家族様、職員で話し合いを行い支援が出来るか決めている。その際は随時カンファレンスを行い、検討や準備を行なっている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	転居先に介護サマリーを送付したりと情報提供を行なっている。退所後も相談があれば、受け付けている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを損ねるような言葉かけ、対応や個人情報の取り扱いには十分配慮し、職員間でも話し合いを行なっている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活の中で、利用者様それぞれの思いや希望がだせるような環境づくりをしている。その人に応じた言葉かけ、声のトーンや話すスピード等工夫している。		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースに合わせた対応が出来る時間を決め、個々に応じた余暇等を提供している。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望者には、地域の理髪店を利用している。また訪問美容利用されている方には、希望に沿っていただいている。身だしなみも嗜好を把握し、個々の好みにあうようにしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>54</p> <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>嗜好を把握し献立を立てている。出来る限り調理、準備、片づけを一緒に行なっている。</p>		
<p>55</p> <p>○利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>個別で外出の機会を設け好きな物を選んで食べていただいている。ご家族様、主治医と相談した上で、喫煙・飲酒の機会を提供している。</p>		
<p>56</p> <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>必要に応じて、排泄チェック表を作成し、排泄パターンを把握し、トイレ誘導を実施し、出来るだけ、オムツはつけないように意識している。</p>		
<p>57</p> <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>個々の希望を伺いながら入浴を実施し、楽しめるようにしている。</p>		
<p>58</p> <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>冬季はリビングにこたつを置き、誰でも利用出来るように工夫し居心地よい環境づくりに努めている。今まで利用されていた寝具等を持参して頂き気持ちよく休める様に工夫している。</p>		
<p>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</p>			
<p>59</p> <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>花の水やりや世話・編み物・習字・作品(貼り絵・こより作り)等利用者様個々の得意分野を生かせる場を提供している。施設内では季節感を感じとれる行事(節分・ひな祭り・七夕・運動会・敬老会・秋祭り・クリスマス会・餅つき等)も実施している。</p>		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の希望や個人の管理能力に応じて所持していただいている。個別での買い物や喫茶外出の際には自分で支払いをしていただける様に工夫している。 またお小遣い長を記帳していただいているケースもある。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺や近くの神社への散歩や、町内のスーパー等への買い物や喫茶外出などに出かけている。同じ方が外出しないよう職員の声掛け等配慮している。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月1回は外出の機会を提供し、個別で行きたいところを聞き行く機会を提供している。またご家族様とはご自由に外出等していただいている。	○	ご家族様にも散会していただける外出行事を企画していきたい。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は職員へ声掛けていただき、自由に使用していただいている。ご家族様に近況報告発送時に利用者様にも手紙をかいていただいている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族様等馴染みある方にはいつでも面会に来た頂き、必要な方には別室を用意し居心地よく過ごしていただけるよう支援している。また、面会になかなか来られない方には、行事等には参加していただけるように職員から声掛けしている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。	○	身体拘束について正しく理解できるよう勉強会を実施していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠することの弊害について理解し、日中は施錠していない。		
67 ○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	随時所在確認をし観察を行なっている。施設外に出られる際は、気付かれないよう職員が見守りを行なっている。夜間は一時間おきに巡視を行なっている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物等は、職員見守りのもと利用して頂き夜間については職員が管理している。またハサミはご家族様了承のもと安全なはさみを必要な方は所持していただいている。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故が起こってしまった場合は、今後の対策をしっかり皆で検討会を実施している。ヒヤリハットを書くことによって、事故を未然に防げる手段に気付くようにしている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルはあるが、応急手当や初期対応の訓練は、定期的に行っていない。	○	定期的に月3回から4回事故を想定した応急処置などまず、初期対応の訓練を実施したい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し年2階避難訓練を実施している。地域住民の方への働きかけは行っていない。	○	運営推進会議を活用し、地域住民の方にも参加していただける避難訓練を実施したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者様に状況に応じて起こりうる事故をご家族様に説明をし、話し合いのもと対策を検討している。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルサインのチェックを行い日々の状態の把握に努め、少しの変化でも主治医に連絡し指示を仰いでいる。		
74 ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬支援はミスが無いように十分注意を払っている。また、服薬時や、量の把握は出来ているが、内容や目的の把握までは出来ていない。		
75 ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便困難な方には乳製品や植物繊維の多いものを取っていただいたり、水分を確実に取っていただいている。また、運動を促している。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	義歯洗浄を行ったり、口腔ケアは日課として行っている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量水分量の記録を行なっている。摂取量の少ない方には詳細記録し、摂取していただける工夫をしている。状態に応じて量を調整したり、キザミ食とろみ食を提供している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は年1回実施している。マニュアルを作成している。予防の為館内消毒を毎日行なっている。玄関に手指消毒液をおき来客者にもしていただいている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	一日の終わりに洗い場、器具の消毒を実施している。食材も購入した日に使用するように心掛けている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	中庭には植木があり、畑も作っている。玄関には季節感の感じとれるよう花を生けたりしている。また水槽を置いている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング、廊下には写真を飾ったり、カレンダーを飾っている。また季節感の感じれるよう作品や装飾品を置いている。冬はコタツを置いている。ボランティアにより季節の花を玄関・廊下等に生けられている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関には椅子を置きデイサービスの人と交流できるようにしている。またパートナー室を開放している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を置いたり、ご家族様に相談しながら好みの物を持ってきていただいている。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>毎日朝換気を行い、エアコンもつけっ放しにしないようにしている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりが設置されている。</p>	○	<p>中庭の出入りの際段差があり危険が高い。</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>居室やトイレの案内板を設置している。表札の設置をしている。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>中庭には日光浴が出来るようにテーブル椅子設置している。また天気がよい際は、お茶を外でしている。ベランダにて洗濯を干している。</p>		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・センター方式を導入したケアプランを作成し、利用者本位の介護計画を実施している 利用者様に寄り添った日常生活の支援を心掛けている。若い職員が多いので、利用者様とは、孫と祖父母のような関係を形成している。